

京都府立図書館 地下特設展示

大政奉還

江戸と明治のはざま

1867 年（慶応 3 年）、江戸幕府 15 代将軍徳川慶喜が政権を朝廷に返上したことで、250 年以上にわたる徳川政権は幕を下ろし、新たな時代への転換を迎えます。

これを機に日本の文化は大きく変化し、急速に西欧化が進みましたが、この大事件の背景には一体どのようなことが起こっていたのでしょうか。

幕末の動乱期や、文明開化の幕開けとなる明治期に関する資料をご紹介します。

期間 平成 29 年 9 月 29 日（金）～12 月 27 日（水）

場所 京都府立図書館 地下 1 階特設コーナー
（京都市左京区岡崎成勝寺町）

資料概要 資料の一部をご紹介します。

● **幕末の活躍者たち**

『龍馬の翔(か)けた時代』 京都国立博物館／編集 京都新聞社（2005）

『幕末志士の手紙』 木村 幸比古／著 教育評論社（2015）

● **新選組**

『新選組は京都で何をしていたか』 伊東 成郎／著 KTC 中央出版（2003）

『新選組おもしろばなし百話』 青木 繁男／著 ユニプラン（2016）

● **黒船来航**

『サムライ異文化交渉史』 御手洗 昭治／著 ゆまに書房（2007）

『ペリーと黒船祭』 佐伯 千鶴／著 春風社（2014）

● **幕末維新**

『幕末維新消された歴史』 安藤 優一郎／著 日本経済新聞出版社（2009）

『グローバル幕末史』 町田 明広／著 草思社（2015）

● **明治維新**

『明治維新を考える』 三谷 博／著 有志舎（2006）

『幕臣たちは明治維新をどう生きたのか』 樋口 雄彦／著 洋泉社（2016）